

第 64 回地域農林経済学会大会のご案内

2014 年 10 月 7 日改定

地域農林経済学会

第 64 回地域農林経済学会大会を下記の要領で開催いたします。地域シンポジウムの開催も予定しておりますので、会員の皆様はもとより、非会員の皆様もぜひご参加ください。

1. 期 日 2014 年 10 月 17 日（金）～19 日（日）

2. 日程および会場

2-1. 開催地：京都府立大学

住 所 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

連絡先 桂 明宏 Tel 075-703-5623 E-mail katsura@kpu.ac.jp
 中村貴子 Tel 075-703-5624 E-mail taka@kpu.ac.jp

2-2. 地域農林経済学会大会日程（例年と開催日程が異なります。ご注意ください）

会場が変更になりました。赤字は変更箇所を示します。

【第 1 日】 10 月 17 日（金）地域シンポジウム（**稲盛記念会館 106 講義室 13:00 開始**）

【第 2 日】 10 月 18 日（土）大会講演①および個別報告（**稲盛記念会館**）

○個別報告① [9:30～12:00]（**105,106,204,205 講義室**）（受付開始
8:30）

○会長挨拶 [13:00～13:10]（**104 講義室**）

○大会講演① [13:10～14:30]（**104 講義室**）

○個別報告② [14:45～16:45]（**105,106,204,205 講義室**）

○総会 [17:00～18:00]（**104 講義室**）

○懇親会 [18:30～20:30]（**稲盛記念会館 1 階レストラン**）

【第 3 日】 10 月 19 日（日）大会講演②および個別報告（**稲盛記念会館**）

○個別報告③ [9:00～12:30]（**105,106,204,205 講義室**）

○大会講演② [13:30～15:30]（**104 講義室**）

【その他】 10 月 17 日（金）

編集委員会 [16:30～18:00]（**稲盛記念会館 3 階 研究ゼミ室 1**）

理事会 [18:00～20:00]（**稲盛記念会館 2 階 会議室**）

10 月 18 日（土）

個別報告優秀賞審査委員会 [12:00～12:50]（**稲盛記念会館 2 階 会議室**）

（同打ち合わせ会議 [8:45～9:15]）（**稲盛記念会館 2 階 会議室**）

新理事会 [18:00～18:30]（**稲盛記念会館 2 階 会議室**）

（注）大会会場の地図・交通案内等は、本文末尾をご参照ください。

2-3. 参加費用等

- ・大会参加費：普通会員4,000円、非会員4,500円、学生会員・学生非会員2,000円
- ・懇親会費：普通会員5,000円、学生会員2,000円（懇親会は、18日の総会終了後に開催されます。懇親会の参加申し込みについては、下記6（3）をご参照ください）

3. 地域シンポジウム「中山間地域におけるコミュニティとビジネスの持続可能性」

(共催：京都府・JA 京都中央会)

10 月 17 日 (金) [13:00~16:30]

過疎化・高齢化の進む中山間地域では、京都府の里の仕事人や京都生協の地産地消事業・ボランティア支援、中国の村官といった外部人材・組織との協働によるコミュニティとビジネスの再生が試みられている。本シンポジウムでは、次の3人の報告とパネルディスカッションにより、弱体化しつつある地縁・血縁コミュニティに対して、コミュニティビジネスや生協の新しい地産地消事業を通じた社縁ネットワークが与える影響や、ビジネスやコミュニティに対して外部人材・組織の支援が果たす役割を検証して、外部力を通じたコミュニティとビジネスの持続可能性について展望する。

宮崎 猛 (京都府立大学) 座長

伊藤利夫 (京都府農林水産部地域活性化担当課長、里の仕事人)

「京都府中山間地域におけるコミュニティおよびコミュニティビジネスの現状と課題」

福永晋介 (京都生協産直・地産地消推進担当)

「京都生協の地産地消事業とボランティア支援」

高田晋史 (神戸大学篠山フィールドステーション学術研究員／篠山市地域おこし協力隊コーディネーター)「中国の村ぐるみ郷村観光経営体と村官の役割」

4. 大会講演

10 月 18 日 (土) [13:10~14:30]

10 月 19 日 (日) [13:30~15:30]

昨年 (2013 年) は日本の農村地域政策と国際的な食農資源問題の先鋭化を取り上げ、その中で地域研究の意義や方向性を講演してもらい、地域農林経済学会のレゾナートルを考える一助とした。

今年度 (2014 年度) は、ポスト TPP (TPP の帰趨にかかわらず、進展する投資の自由化や円滑化をにらんで) 下の食農資源問題を取り上げ、食品業界における国際的な調達網の再編、農産物輸出振興の現状と課題などを取り扱うことで、昨年とは違う視点からの地域研究のあり方を考究する。

そのためにまず1本目の講演として (1 日目)、農業よりも上記の事態がずっと先行している水産物を例に取り、貿易構造の再編 (大きな流れと地域水産物市場との重層性)、国際的な分業体制とそれを前提にした調達網の変動、その効果と課題などを取り上げ、ダイナミックに動く東アジアの水産物貿易に焦点をあてながら、日本の水産業の将来展望について考える。

次に、2 本目の講演として (2 日目)、農産物輸出に取り組んでいる事例を対象として、その実践者からの講演と研究者の立場からの解題をセットする。実践者としては、航空便によるイチゴの香港向け輸出を行っている徳島県の事例を選定した。研究者としては農業生産法人によるコメ輸出の調査経験のある気鋭の研究者に依頼した。

講演①：「東アジア水産物貿易の新しい潮流と日本水産業」

山尾政博 (広島大学生物圏科学研究科生物資源科学専攻)

講演②：「品質と物流のマッチングによる農産物の輸出戦略」(仮題)

山形文吾 (「フルーツガーデンやまがた」社長)

講演②に対する解題

井上憲一 (島根大学生物資源科学部)

5. 個別報告

10月18日(土) 9:30～12:00 (個別報告優秀賞対象報告を含む)

14:45～16:45

10月19日(日) 9:00～12:30

①個人・連名報告は1件につき、30分(報告20分、質疑応答10分)を予定しています。

②筆頭報告者には、会員の資格が必要*です。非会員の方には、入会関係書類を送付しますので、至急、学会事務局までお申し出ください(学会HPからのダウンロードも可能です)。また、同一筆頭報告者による報告は一報告に限りますので、ご注意ください。

*個別報告の申込期限(8月18日(月))までに、入会金と年会費の納入が必要です。

③個別報告の申し込み方法、プレゼンテーション用ファイル(PDF)の送付、個別報告論文投稿等については、【別紙】の1を参照してください。特に、インターネット経由に移行しているので、十分に注意してください(個別報告論文の投稿についても変更があります)。

④2010年度より、若手会員の学会個別報告への積極的参加の奨励および顕彰を目的として、個別報告を行う若手会員(2015年4月1日時点で37歳未満の会員)で、個別報告優秀賞に応募する方を対象に審査を行い、優れた報告に対して個別報告優秀賞を授与することになりました(表彰規定、審査手続きの詳細については、『農林業問題研究』第46巻1号(2010年6月号)を参照のこと・・近日中に学会HPに掲載の予定)。若手会員の積極的な応募を期待します。なお、個別報告優秀賞応募の方法については、【別紙】の2を参照してください。

⑤今大会ではセッション募集は行いません。ただし、個別報告の時間帯で複数名がグループとして連続的に報告する形式を希望する場合には2～3時間程度の時間枠を提供しますので、企画担当理事(伊庭治彦:hiba@kais.kyoto-u.ac.jp)に申し出てください。なお、報告数が多い場合など承れない可能性があることをご了解ください。また報告論文として投稿を希望する場合には、個別報告論文投稿規程にしたがってください。

6. その他連絡事項

(1) 宿泊について

事務局では斡旋いたしませんので、各自でご予約ください。

(2) 昼食について

10月18日(土)、19日(日)とも、**稲盛記念会館1階レストラン**が営業しております(詳しくは当日アナウンスします)。

(3) 懇親会の申し込みについて

懇親会への参加を希望される方は、下記の要領でe-mailにて、中村貴子(京都府大)までお申し込みください。なお、会費は当日、受付にてお支払いください。

宛 先: E-mail taka@kpu.ac.jp (中村貴子)

メールの件名: 懇親会申し込み

メールの本文: ①氏名, ②所属, ③連絡先住所, ④連絡の取りやすい電話番号

申 込 期 限 : 10月10日(金)

そ の 他 : 複数名分を、一括してお申し込みいただいても結構です。

(4) 京都府立大学への交通手段について

(詳しくは、<https://www.kpu.ac.jp/>をご覧ください)

J R 京都駅から

- 地下鉄烏丸線「北山駅」下車、正門まで南へ約 600m
- 地下鉄烏丸線「北大路駅」下車、南門まで東へ約 800m
- 市バス 4 番(上賀茂神社行)「北園町」下車、正門まで西へ約 300m
- 市バス 205 番(四条河原町経由北大路バスターミナル行)、 206 番(東山通経由北大路バスターミナル行)「府立大学前」下車、正門まで北へ約 350m





京都府立大学 構内配置図

会場が変更になりました。全ての企画が稲盛記念会館で行われます。ご確認ください。

【別紙】

1. 個別報告の要旨原稿の様式・申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの送付、個別報告論文投稿に際しての注意事項などについて

(1) 個別報告の要旨原稿の様式

- ① 要旨原稿のフォーマットは、本学会HP (<http://a-rafe.org/>) の「学会誌」にある個別報告要旨様式（作成要領・見本）を参照して下さい。
- ② 要旨原稿は、ワープロで作成したファイルを、必ずPDFファイルに変換して下さい（A4サイズ、1枚）。
- ③ ファイル名は、下記の事例を参照して下さい。

例) (単独の場合) ○○大学・農経花子.pdf
(複数の場合) ○○大学・農経花子他.pdf

また、所属機関の書き方は、下記の事例を参照して下さい。

例) (社会人の場合) ○○大学
○○研究所
(大学院生の場合) ○○大学大学院
(学部学生の場合) ○○大学△△学部
(日本学術振興会特別研究員の場合) 学振特別研究員・○○大学

(2) 申し込み方法

- ① 個別報告の申し込みおよび要旨原稿ファイル（PDFファイル）の提出は、インターネット経由で行ってください。
- ② 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/331d723232976>>です。
パスワードを聞いてきますので、「20140818」と入力してください。
(当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。)
なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」にも上記アドレスをリンクしていますので、そちらを利用して頂くことも出来ます。
- ③ 個別報告要旨は、当日配付する資料等には収録しておりません。個別報告要旨は学会HPにアップし、大会期間中は受付場所で閲覧できるようにしておきます。
- ④ 個別報告希望者は、8月18日（月）23時までに、上記のURLアドレスを開いて、「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」に必要な事項を入力して下さい。また、フォームの「IX個別報告要旨のファイル（PDF形式に限る）を添付して下さい。」の欄では、参照のボタンをマウスでクリックし、すでに作成された要旨原稿ファイル（PDFファイル）を選択して下さい。
- ⑤ 一連の操作が終わりましたら、確認画面へのボタンをクリックして下さい。入力された事項が、一覧になって現れますので、入力ミスがあれば、戻るのボタンをクリックすれば、何度でも修正することが出来ます。もし、ミスがなければ、送信するのボタンをクリックして下さい。

- ⑥ 以上の結果、返信メールが、連絡先メールアドレスに送られる仕組みになっています。数時間たっても連絡先メールアドレスに、受付完了のメールが届かない場合には、再度申請をお願いいたします。また、時間の余裕をもって申請してください。
- ⑦ 「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」入力に関しての質問は、電話では一切受け付けていません。また、入力ミスへの修正対応はできません。
- ⑧ 筆頭報告者は、本学会の会員に限られます。非会員の場合は、本学会HP<<http://a-rafe.org/>>の「会員・入会情報」から、入会申込書（PDF形式）をダウンロードし、必要事項をご記入の上、8月18日（月）午後5時（必着）までに、学会事務局あてに郵送ないしファックス送信してください。さらに、入会金1000円と学会費（年額）を、学会事務局の郵便貯金口座へ、8月18日（月）午後5時までに、学会事務局で振り込みが確認出来るように、手続きを済ませておいて下さい。
- (3) 個別報告で使用するプレゼンテーション用ファイル（PDF）の送付について
- 1) 個別報告でPDFファイルを使用する場合（**PowerPointファイルは使用できません**）
- ① 個別報告会場に備え付けのプロジェクターとPCで報告していただきます。
- ② PDF用ソフトは、Adobe Reader（大会当日の最新版）です。送付される前に、上記のソフトで使用可能か、必ずご確認のうえ、お送り下さい。なお、変換ミス等で使用できない等のトラブルに備えて、紙媒体も持参されることをお勧めします。事務局では、PCへの入力が不可能な場合でも、変換等のお手伝いはしません。
- ③ PDFファイルのプレゼンテーション用原稿は、当日の混乱を避けるため、10月14日（火）23時までに、インターネット経由で提出してください。（時間厳守：事務多用のため、締切以降は受け付けません）。
- ④ 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/1d394ab732977>>です。パスワードを聞いてきますので、「20141014」と入力してください。
（当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。）
なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしていますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。
- ⑤ 会場でのPC使用の便宜のため、PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。
- 例）報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合
（単独の場合）特0101・農経花子.pdf
（複数の場合）特0101・農経花子他.pdf
報告者が、一般報告で、第3会場の第6報告の場合
（単独の場合）0306・農経花子.pdf
（複数の場合）0306・農経花子他.pdf
- ⑥ ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をして下さい。
- 2) 個別報告および大会セッションで紙媒体を用いる場合

従来通り、聴講者数分の部数を用意して、当日報告会場に持参してください（事務局では印刷の斡旋はしません）。

3) OHPは利用できません。

(4) 個別報告論文として投稿を希望する方へ

※個別報告論文の投稿方法が昨年度から変更されています。主な変更点は、投稿プロセスの電子化、テンプレートファイル利用必須化の2点です。詳細な投稿方法や原稿作成要領等については、学会HPを随時参照してください。

① 「地域農林経済学会大会個別報告論文投稿要領」（学会HPに掲載、以下、個別報告論文投稿要領と略す）の2にしたがって、「大会前提出原稿」を作成し、10月9日（木）23時までに（郵送の場合は消印有効）、個別報告座長宛てに1部送付（メールまたは郵送）して下さい。個別報告座長については、学会HPで確認してください（9月中頃掲載予定）。「大会前提出原稿」を作成する際には、学会HPに掲載されている「個別報告論文テンプレート」を用いる必要があります。

② 併せて、「大会前提出原稿」は、10月9日（木）23時までに、インターネット経由で提出してください（PDFファイルに変換のこと）。

③ 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/f8970ece32990>>です。

パスワードを聞いてきますので、「20141009」と入力してください。

（当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。）

なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしていますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。

④ PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。

例) 報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合

（単独の場合）特0101・農経花子.pdf

（複数の場合）特0101・農経花子他.pdf

報告者が、一般報告で、第3会場の第6報告の場合

（単独の場合）0306・農経花子.pdf

（複数の場合）0306・農経花子他.pdf

⑤ ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をして下さい。

⑥ 大会終了後に提出して頂くことになる個別報告論文の投稿方法・締め切り等については、大会前に学会事務局から投稿案内がメールにて送付される予定です。個別報告論文の書き方・提出方法等については、学会HPに掲載される「個別報告論文テンプレートファイル」および「個別報告論文投稿要領」に従ってください。

⑦ 連名報告での報告者の順位と、個別報告論文での執筆者の順位は、同じでなければなりませんので、ご注意ください。

2. 個別報告優秀賞の応募方法について

- ① 個別報告優秀賞は、個別報告の中から優秀な論文を選考するものですから、報告は通常の個別報告と同様、個別報告会場で行っていただきます。
- ② したがって、個別報告優秀賞に応募される方は、まず、個別報告に申し込んでください。
申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの送付方法、「大会前提出原稿」の送付方法等は、一般の個別報告に申し込まれる方と、まったく同じです（【別紙】1.（4）参照）。
なお、「大会前提出原稿」の提出が必須です。「大会前提出原稿」の提出がない場合には、一般報告扱いになりますので、ご注意下さい。
- ③ そのうえで、個別報告を申し込まれる際に、「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」の質問項目のうち、【Ⅷ個別報告優秀賞への応募を希望しますか？】、【「はい」と希望した場合には、2015年4月1日時点での筆頭報告者の年齢を入力してください。】、【今回の応募は、研究論文等として投稿中の研究ではありませんね？】に、必要事項を記入し送信してください。なお、個別報告優秀賞への応募できるのは、2015年4月1日時点での筆頭報告者の年齢が37歳未満の場合です。また、すでに研究論文等として投稿中の研究は応募できません。
ご注意下さい。

3. 個別報告、個別報告優秀賞に関する問い合わせ先

- (1) 個別報告の「申し込み」、個別報告優秀賞審査対象論文の「応募」に関する問い合わせ先
企画担当理事（京都大学・伊庭治彦：hiba@kais.kyoto-u.ac.jp）
*学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。
*申請フォームの入力ミスへの修正対応はできません。
- (2) 個別報告「大会前提出原稿」に関する問い合わせ先
常任編集委員会（editors@a-rafe.org）
*学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。